

(資料1) オプトアウト揭示内容

総合大雄会病院に入院された患者さまへ

当院では下記の要領で臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報を研目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記にお問い合わせください。

研究課題名	脳血管疾患患者の便秘に対する酸化マグネシウムとパンテチン併用の有効性についての検討
本研究の目的	脳血管障害による便秘は、主に弛緩性便秘（大腸の蠕動運動の低下）と症候性便秘（排便に関わる神経や筋肉の機能低下）の両方のタイプが考えられることから、脳血管障害患者さまに対して浸透圧性下剤である酸化マグネシウムと腸運動を促進させるパンテチンを併用する処方することがあります。しかし、パンテチンを脳血管障害患者さまに対するパンテチンの有効性を報告がありません。 そこで、酸化マグネシウム単剤と、酸化マグネシウムとパンテチンを併用した時の有効性の違いについて調査します。
研究の対象	2021年4月から2025年4月の間に総合大雄会病院の脳外科病棟または回復期リハビリテーション病棟に脳血管疾患（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血）で入院し、便秘に対して新規に酸化マグネシウムを処方された患者さま
研究の方法	この研究では対象となる患者さまの診療記録から下記情報を使用させていただきます。後方視野的に調査します。 情報：年齢、性別、排便回数、排便日数、脳血管疾患の種類、処方内容、レスキュー薬（医師が看護師に対して、患者の便秘時に臨時で追加投与を指示した便秘薬）、両期間におけるレスキュー投与・摘便・浣腸の回数、副作用情報、硬便・残便感・いきみ等による排便時の苦痛の訴え
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も個人を特定できる情報は利用しません。
本研究の資金源（利益相反）	研究の資金源は、施設の経費もしくは自費にて実施するため、利益相反は生じません。
お問い合わせ先	診療情報を本研究に用いられることにご同意いただけない場合には、研究対象から除外させていただきますので、2026年12月31日までに下記連絡先までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。 また、本研究に関するご質問等がありましたら下記連絡先までお問い合わせください。 研究責任者 総合大雄会病院 薬剤師 河野太治 電話：0586-72-1211（代） e-mail：t-kouno@daiyukai.or.jp